



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 株式会社ファルテック
コード番号 7215 URL <https://www.faltec.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河井 芳浩

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋

TEL 044-520-0290

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,592	△6.9	△628	—	△592	—	△847	—
2022年3月期第1四半期	16,755	33.2	617	—	646	—	304	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 59百万円 (△95.3%) 2022年3月期第1四半期 1,272百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△90.37	—
2022年3月期第1四半期	32.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	68,105	21,395	27.8	2,015.66
2022年3月期	66,789	21,608	29.0	2,066.59

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 18,902百万円 2022年3月期 19,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	2.7	1,500	5.1	1,500	△14.8	200	—	21.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	9,378,600株	2022年3月期	9,378,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	728株	2022年3月期	728株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	9,377,872株	2022年3月期1Q	9,377,891株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、世界的に半導体の供給不足が長期化していることに加え、原材料費やエネルギー費の高騰、ロシアのウクライナ侵攻の影響、為替の急激な変動等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する自動車業界の概況も、半導体供給不足の長期化によりグローバルで生産調整等が相次ぎ、先行き不透明な状況となっております。

このような情勢の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、半導体供給不足の長期化によるお客様の生産調整等の影響を受け、15,592百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

営業損失は、お客様の急激な生産調整等に伴うロス、原材料市況やエネルギー費高騰等の影響により、628百万円（前年同期は617百万円の営業利益）となりました。

経常損失は、営業利益減少に伴い592百万円（前年同期は646百万円のセグメント利益）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、法人税等138百万円及び非支配株主に帰属する四半期純利益 112百万円を計上し、847百万円（前年同期は304百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、半導体供給不足の長期化によるお客様の生産調整等の影響を受け、10,817百万円（前年同期比15.1%減）となりました。セグメント損失は、売上高減及び原材料市況高騰等により、480百万円（前年同期は483百万円のセグメント利益）となりました。

(アジア)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産台数が堅調に推移し、3,167百万円（前年同期比24.6%増）となりました。セグメント利益は、原材料市況やエネルギー費高騰影響があったものの、売上高増等により340百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

(北米他)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、半導体供給不足の長期化影響があったものの、前年同期の新型コロナウイルス感染症による影響から回復し、1,607百万円（前年同期比9.1%増）となりました。セグメント損失は、英国子会社でのロシアのウクライナ侵攻に伴うお客様の急激な生産変動影響、原材料市況の高騰影響等により、542百万円（前年同期は223百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における総資産は68,105百万円となり前連結会計年度末比で1,316百万円の増加となりました。このうち、流動資産は38,478百万円となり前連結会計年度末比で1,475百万円の増加となりました。流動資産の主な増減は、現金及び預金の増加2,410百万円、お客様の生産調整による当四半期の対前四半期での売上減少に伴う売掛金の減少1,810百万円等であります。また、固定資産は29,626百万円となり前連結会計年度末比で159百万円の減少となりました。固定資産の主な減少は、機械装置及び運搬具（純額）の減少152百万円等であります。

負債は46,710百万円となり前連結会計年度末比で1,529百万円の増加となりました。このうち、流動負債は33,333百万円となり前連結会計年度末比で2,756百万円の増加となりました。流動負債の主な増減は、お客様の生産調整による当四半期の対前四半期での仕入減少に伴う支払手形及び買掛金の減少449百万円、賞与引当金の取崩等による減少443百万円、短期借入金の借入による増加3,000百万円等であります。また、固定負債は13,376百万円となり前連結会計年度末比で1,227百万円の減少となりました。固定負債の主な減少は、長期借入金の返済による減少1,288百万円等であります。

純資産は21,395百万円となり前連結会計年度末比で212百万円の減少となりました。純資産の主な増減は、為替換算調整勘定の増加631百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失に伴う利益剰余金の減少847百万円等であります。

当社グループが重要視している当四半期連結会計期間末の自己資本比率は27.8%となり、前連結会計年度末比で1.2ポイントの低下となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

半導体供給不足、原材料費やエネルギー費の高騰、為替の急激な変動等により先行き不透明な状況は続いておりますが、第2四半期以降の売上高は緩やかに回復基調であり、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想を現時点では変更しておりません。

経営環境の変化等により業績見通しの修正が必要になった場合は、速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,553	12,964
受取手形	349	353
売掛金	14,656	12,845
電子記録債権	1,007	1,187
商品及び製品	3,890	4,604
仕掛品	1,002	921
原材料及び貯蔵品	3,509	3,910
その他	2,035	1,692
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	37,003	38,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,070	10,196
機械装置及び運搬具(純額)	6,112	5,959
工具、器具及び備品(純額)	1,052	1,190
土地	6,500	6,528
リース資産(純額)	1,441	1,703
建設仮勘定	1,840	1,214
有形固定資産合計	27,018	26,792
無形固定資産	1,024	1,048
投資その他の資産		
投資有価証券	292	282
繰延税金資産	1,040	1,100
その他	416	409
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	1,742	1,786
固定資産合計	29,785	29,626
資産合計	66,789	68,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,740	6,291
電子記録債務	4,226	4,171
短期借入金	9,000	12,000
1年内返済予定の長期借入金	4,563	4,563
リース債務	1,088	1,237
未払法人税等	375	219
賞与引当金	846	403
その他	3,735	4,446
流動負債合計	30,577	33,333
固定負債		
長期借入金	8,818	7,530
リース債務	508	673
退職給付に係る負債	3,836	3,717
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	432	447
固定負債合計	14,603	13,376
負債合計	45,181	46,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	337
利益剰余金	13,360	12,512
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,260	15,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	75
土地再評価差額金	2,040	2,040
為替換算調整勘定	1,487	2,119
退職給付に係る調整累計額	△471	△474
その他の包括利益累計額合計	3,119	3,761
非支配株主持分	2,227	2,492
純資産合計	21,608	21,395
負債純資産合計	66,789	68,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	16,755	15,592
売上原価	13,947	13,946
売上総利益	2,807	1,646
販売費及び一般管理費	2,190	2,274
営業利益又は営業損失(△)	617	△628
営業外収益		
受取利息	12	23
受取配当金	5	7
持分法による投資利益	2	—
助成金収入	36	59
補助金収入	—	43
その他	16	8
営業外収益合計	72	142
営業外費用		
支払利息	28	28
為替差損	6	28
持分法による投資損失	—	29
その他	9	20
営業外費用合計	43	106
経常利益又は経常損失(△)	646	△592
特別損失		
固定資産除売却損	8	3
特別損失合計	8	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	637	△596
法人税等	263	138
四半期純利益又は四半期純損失(△)	374	△734
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	112
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	304	△847

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	374	△734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	12
為替換算調整勘定	937	783
退職給付に係る調整額	△36	△2
その他の包括利益合計	897	793
四半期包括利益	1,272	59
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,089	△205
非支配株主に係る四半期包括利益	183	264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社及び連結子会社である㈱アルティアにおける退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として10年で費用処理していましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間より費用処理年数を9年に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,739	2,543	1,473	16,755	—	16,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	214	23	—	237	△237	—
計	12,953	2,566	1,473	16,992	△237	16,755
セグメント利益又は損失 (△)	483	333	△223	594	23	617

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,817	3,167	1,607	15,592	—	15,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	214	70	—	284	△284	—
計	11,032	3,237	1,607	15,876	△284	15,592
セグメント利益又は損失 (△)	△480	340	△542	△683	55	△628

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。